平成　３０年　８月　９日
青森河川国道事務所
青　　森　　県
十　　和　　田　　市

８／２５，２６　「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」（外国語版パンフレットを作成しました）

■奥入瀬渓流沿いの国道１０２号において、自動車の走行音により渓流本来の「音」が楽しめない状況を改善させるため、車両通行の広域迂回や通行自粛といった「自発的な協力をお願し、来訪者に静穏な環境で散策を楽しんでもらうためのプロジェクトを実施します。

■この度、奥入瀬渓流に来訪する外国の方々の増大に対応するため「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」の外国語版パンフレットを作成しました。
主な配布先としては、外国の方々の来訪が予想される青森県内の新幹線駅とその周辺店舗、レンタカー店、空港等といたします。

記

「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」

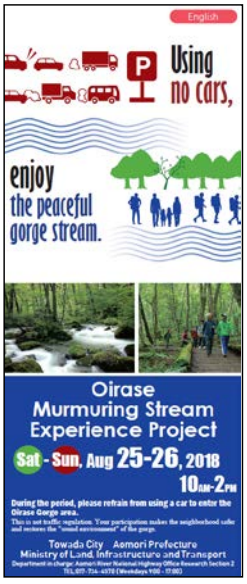
１.日　時　：　平成３０年８月２５日（土）～２６日（日）１０：００～１４：００

２.場　所　：　国道１０２号奥入瀬渓流区間（惣辺交差点～子ノ口交差点）

３.外国語版パンフレット

日本語　　英　語　　中国語（簡体字）　　中国語（繁体字）









４.その他　：　・各パンフレットの詳細については、こちらの最新情報をご覧ください。
【URL】http://oirase-seseragi.com/

＜記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社＞

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所　（直通）017-734-4570
建設専門官　須藤（すとう）　昌二（しょうじ）　（内線 460）

参考添付

平成　３０年　５月３１日
青森河川国道事務所
青　　森　　県
十　　和　　田　　市

今年は８月を強化月間として取り組みます
「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト（８月強化月間）」
「奥入瀬渓流マイカー交通規制（エコロードフェスタ）」

■「奥入瀬渓流」は、我が国が世界に誇る景勝地ある一方、通行車両により歩行者や自転車利用者の安全性が脅かされ、自動車の騒音走行音により奥入瀬渓流の『音』が楽しめない状況が見られます。
■現在「青橅山バイパス」の整備を進めておりますが、バイパス完成前の奥入瀬渓流の環境改善への取り組みとして、マイカー規制や昨年度から通行自粛の呼びかけのプロジェクトを行ってきました。
■これら実施した結果、奥入瀬を訪れる多くの方々が、車の少ない環境での散策を望んでいることが確認できましたので、年間を通し、車を控えて歩く観光を推奨するため、チラシ、ポスター、案内看板により広報を展開して参ります。とりわけ８月を強化月間として活動し、これらの取り組みの一環として今年も「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」と「奥入瀬渓流マイカー交通規制（エコロードフェスタ）」を実施いたします。

記

「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」〈８月は強化月間〉

１.日　時　：　平成３０年８月２５日（土）１０：００～１４：００
　　平成３０年８月２６日（日）１０：００～１４：００

２.場　所　：　国道１０２号奥入瀬渓流区間（惣辺交差点～子ノ口交差点）

３.内　容　：　①広域迂回のお願い（運送業対象）
　　②通行自粛のお願い（全車両対象）
　　※交通規制ではありません。自発的に車両通行を控えていただくことをお願いするものです。
　　・今年度から、ご協力いただいた方々が快適に散策できるよう、シャトルバスを運行 します。（焼山⇔子ノ口　20 分～30 分間隔運行　子ノ口⇔休屋 40 分～50 分間隔運行）
　　・実施当日は、協力いただいた方に対して「十和田西高等学校観光科」等による無料ガイド、焼山や休屋地区等の商業施設での商品割引等、ミネラルウオーターの配布 を予定しております。

４.８月強化月間：年間を通して、車を控えて歩く観光を推奨するため、チラシ、ポスター、案内看板により広報を展開して参ります。とりわけ８月の１ヶ月間を道路情報板等による駐停車抑制の呼びかけや、仮設トイレ設置（２箇所）を行い、快適に散策いただく環境を向上させます。

５.その他　：　・プロジェクトの詳細については、こちらもご覧ください。
　　【URL】http://oirase-seseragi.com/

「奥入瀬渓流マイカー交通規制（エコロードフェスタ）」

１．日　時

・マイカー交通規制

平成３０年１０月２５日（木）１０：００～１４：００

平成３０年１０月２６日（金）１０：００～１４：００

・マイカー交通規制（エコロードフェスタ）

平成３０年１０月２７日（土）９：００～１５：００

平成３０年１０月２８日（日）９：００～１５：００

２．場　所　：　国道１０２号奥入瀬渓流区間（惣辺交差点～子ノ口交差点）

３．内　容　：　①交通規制

・国道１０２号奥入瀬渓流区間（惣辺交差点～子ノ口交差点）

《自動車・自動二輪（原付ﾊﾞｲｸも含む）車両通行止め》

・国道１０２号七曲区間（子ノ口交差点～青橅山交差点）

《大型車・特定中型車　車両通行止め》

②広域迂回のお願い（運送業対象）

※観光事業者に対して取り組み内容の周知を行います

４．その他　：　・イベント等の詳細は現在調整中

＜記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙＞

問い合わせ先

「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」関する問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局　青森河川国道事務所　（直通）017-734-4570

建設専門官　須藤（すとう）　昌二（しょうじ）　（内線 460）

「奥入瀬渓流マイカー交通規制（エコロードフェスタ）」に関する問い合わせ

青森県　県土整備部　道路課　（直通）017-734-9651

整備推進ＧＭ　田中（たなか）　仁司（ひとし）　（内線 6712）





車を控えて、本来の渓流を楽しもう。





シャトルバスとガイドで行く

奥入瀬 せせらぎ体感プロジェクト



2018. 8/25(土)・26(日)

午前10時～午後2時

プロジェクトの詳細は Web サイトをご覧ください。

▲せせらぎ体感プロジェクト Web サイト

奥入瀬 せせらぎ体感プロジェクト

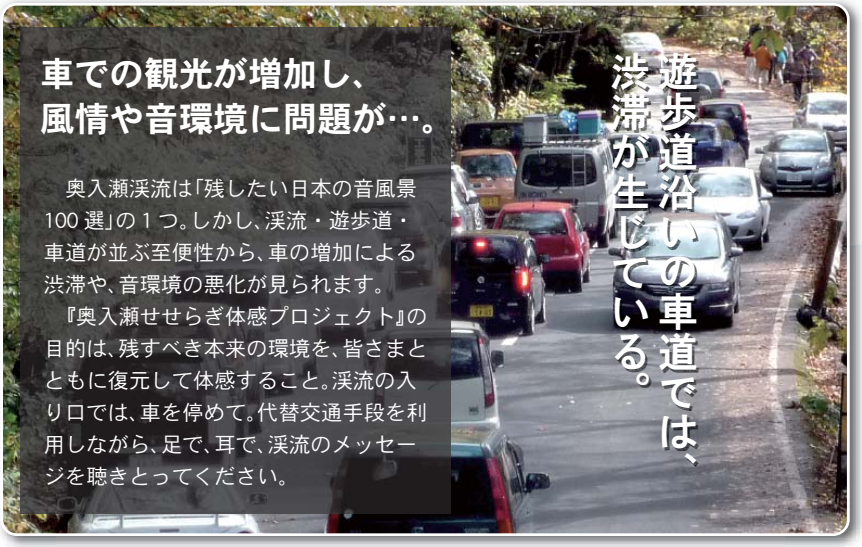
せせらぎ体感プロジェクト

期間中、奥入瀬渓流区間への車両の進入はお控えください。

交通規制ではありません。皆さまの参加により、付近の安全性を高め、渓流の “音環境” を復元するプロジェクトです。

十和田市　青森県　国土交通省

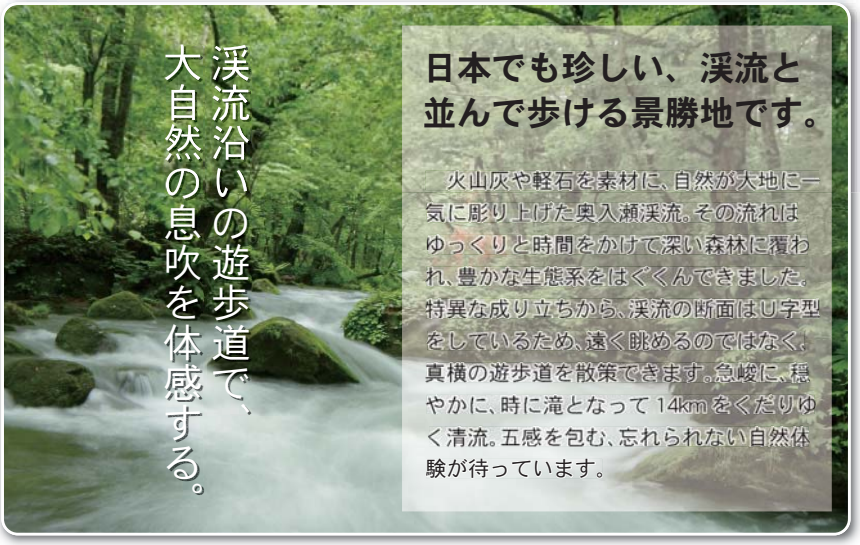
担当部署：青森河川国道事務所　調査第二課
TEL:017-734-4570(9時～17時)



車での観光が増加し、風情や音環境に問題が…。

奥入瀬渓流は「残したい日本の音風景100選」の1つ。しかし、渓流・遊歩道・車道が並ぶ至便性から、車の増加による渋滞や、音環境の悪化が見られます。

『奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト』の目的は、残すべき本来の環境を、皆さまとともに復元して体感すること。渓流の入り口では、車を停めて。代替交通手段を利用しながら、足で、耳で、渓流のメッセージを聴きとってください。



日本でも珍しい、渓流と並んで歩ける景勝地です。

火山灰や軽石を素材に、自然が大地に一気に彫り上げた奥入瀬渓流。その流れはゆっくりと時間をかけて深い森林に覆われ、豊かな生態系をはぐくんできました。特異な成り立ちから、渓流の断面はU字型をしているため、遠く眺めるのではなく、真横の遊歩道を散策できます。急峻に、穏やかに、時に滝となって14kmをくだりゆく清流。五感を包む、忘れられない自然体験が待っています。

3つの参加者特典をご用意

※天候不良などにより、特典が中止となる場合がございます。予めご了承ください。

- 特典1 ガイドとともに散策（無料）
- 特典2 奥入瀬源流水プレゼント！
- 特典3 区間内に、割引商品あり！

車は駐車場へ。その先はシャトルバス等で。足を気にせず、楽々散策。

『せせらぎ体感プロジェクト』への参加は簡単です。マイカーやレンタカーを駐車場に停めて、受付でリストバンドをもらうだけ。その先は、バスやレンタサイクルで、徒歩で、存分に渓流をお楽しみください。期間中はシャトルバス（有料）が大幅に増発されるため、「見どころだけを歩いてバスをひろう」といった楽しみ方も自在です。参加者が多いほどに渓流のせせらぎを体感できる、皆様の協力で実現するプロジェクト。奥入瀬を味わえる特典も盛りだくさんです。

※シャトルバスを利用しない方でも受付でマイカー通行自粛の意思をお伝えくだされば、リストバンドと水を配布します。リストバンドの提示により、各種割引を受けられます。ぜひ、通行自粛にご協力ください。



8/25、8/26はシャトルバスを運行

焼山 ⟷ 子ノ口			子ノ口 ⟷ 休屋		
焼山始発 9:40	20～30分間隔で運行	子ノ口発最終 17:05	子ノ口始発 10:13	40～50分間隔で運行	休屋発最終 16:20



シャトルバスを利用しておもいおもいの散策を楽しんでください
楽しみ方例

- マイカーを駐車
- 焼山バス停（駐車場・参加受付）
- シャトルバスで移動
- 子ノ口バス停
- 車が少ない道を快適に散策
- 雲井の流れバス停
- 帰りもらくらく

十和田市 青森県 国土交通省
担当部署：青森河川国道事務所 調査第二課
TEL:017-734-4570(9時～17時)